

DECISION

Request for Redress

Request No.: 01

Heard Jointly With Number(s): 06

Event: 2023_Chugoku_Sikoku_Inter-College Yacht Competition Race Number: 1
Hearing Schedule: 2023-07-01 17:45

PARTIES AND WITNESSES

Request No.: 01: スナイプ - 07 広島大学 31305 - 平田 亮

Race Committee

Request No.: 06: スナイプ - 07 広島大学 31305 - 平田 亮

Race Committee

Witnesses: スタート動画を提出する

VALIDITY

Objection to Jury: No

Within Time Limit: Within Time Limit

Incident Identified: Yes

Proper Hail: Hail not required

Red Flag Displayed: Not required

Decision: Request Valid

PROCEDURAL MATTERS

審問番号1と6は同じインシデントであるため、同時に審問を行った。
艇7とレース委員会は、審問においてそれぞれ証拠として動画を提出し、当事者及びパネル全員で確認した。
日本セーリング連盟規程付則JAに従って構成されたパネルで審問を行った。

FACTS FOUND

スナイプ級第1レースのスタートにおいて、レース委員会は、準備信号としてP旗を掲揚した。
艇7は、スタート信号時にクロスホールドのスターボードタックで帆走しており、艇7のバウは、スタート・ラインの風下側にあった。
スタート信号後、艇7は、スタート・ラインをプレスタート・サイドからコース・サイドに向かって横切った。
レース委員会は、艇7をOCSと記録した。

Diagram: No Diagram Needed

CONCLUSIONS AND RULES THAT APPLY

Rules:

艇7は、スタート信号時に艇体がスタート・ラインのプレスタート・サイドに完全に入っており、その後、正しくスタートした。

艇7は、自艇の過失ではなく、レース委員会の不適切な処置により得点が明らかに悪くなったため、規則62.1(a)に基づき救済を受ける資格がある。

DECISION

Date & Time: 2023-07-01 18:24 JST

艇7に救済を与える。

スナイプ級第1レースにおいて、艇7にフィニッシュ順位の得点を与える。

また、艇7より後にフィニッシュしたそれぞれの艇の得点を1つずつ繰り下げる。ただし、『フィニッシュしなかった(DNF)』より悪い得点が与えられることはない。

PROTEST COMMITTEE

Committee Type: Protest Committee

Chaired By: Keiji Kato (JPN)

Committee Members: Aki Ikegami (JPN), Keiji Kato (JPN), Tomita Hiroshi (JPN), Hirofumi Fujii (JPN), Kazuo Kousaka (JPN)